

フリークライミング・インストラクター資格 職能別資格検定試験詳細規定

平成 25 年 4 月 1 日
公益社団法人日本山岳ガイド協会
試験・研修委員会

インドアクライミング・インストラクター

●職能範囲

国内において人工壁におけるボルダリングからスポーツルートまでをインストラクター、コーチ、講師としての指導行為を有償で行うことができる。

●受験資格

- ・満 20 歳以上で健康で体力があり、本会の定めるクライミング経験・技術水準を満たしクライミング経験年数 3 年以上の者。
- ・技術水準：
人工壁にて下記 5 本以上の経験
スポーツルートで 5.11c 以上のレッドポイントおよび 5.11a 以上のオンサイト経験。

●受験の流れ

書類審査 → 適性審査 (1 日)

→ 人工壁研修 (3 日) → 筆記試験 (小テスト 2 科目、小論文)

*書類審査、適性審査に合格した者は人工壁研修および筆記試験を受験できる。

*ファーストエイド (FA) 講習について

必須講習として資格認定時までには本会主催のファーストエイド 2 日間の受講済み (3 年以内に受講したもの) であること。認定時に、証明する書類のコピーを提出すること。

●書類審査申請時提出書類

- ①書類審査申請書+顔写真 2 枚 (うち 1 枚は申請書に貼付のこと)
- ②住民票
- ③クライミング歴報告書 (インストラクター歴、コンペ歴がある場合にはその報告書)
- ④健康診断書 (受験申込前 6 ヶ月以内に受診したもの)
- ⑤検定試験受験誓約書

●書類審査、適性審査料

書類審査料 : 5,000 円、適性審査料 : 10,000 円 (1 日)

●適性審査

5.11a 程度のオンサイトトライおよび 5.11c 程度のレッドポイントトライを行う。また指導者としての適性能力の審査を行う。

ボルダリング、トップロープクライミング、リードクライミング、ビレイ、ロープワーク等クライミングに対する理解度と安全管理に関する認識。用具の知識。ルールとマナー等について以上を A.B.C の 3 段階評価で行う。

●人工壁研修の内容および費用

研修内容	研修場所	日数	費用	備考
ボルダリングの指導、課題設定、ビレイの指導方法、人工壁での安全管理など	日本国内	3 日	30,000 円	
筆記試験（小テスト）と小論文			5,000 円	研修期間中に実施

●筆記試験（小テスト）科目（70%以上で筆記試験合格とする。）

試験科目	出題内容
業務関連	①インストラクター概論 ②リスク・マネジメント ③法律関係（自然保護法、旅行業法、道路運送法、土地利用に関する法律、その他法的責任について） ④フリークライミング概論と倫理
専門知識と安全管理	①クライミング技術について ②クライミングギアの知識（ロープ、カラビナ、ボルト、カム等） ③安全管理とマナー ④ファーストエイドに関する知識 ⑤スポーツ科学（トレーニング理論、故障とケア、栄養学）に関する知識
小論文	インストラクターの役割や責務、およびインストラクターの資質について問う

- ・適性審査、講習・検定試験、筆記試験受験の参考図書：公益社団法人日本山岳ガイド協会刊
(1) フリークライミング・インストラクター指導教本+増補版
(2) 山のファーストエイド教本

●各科目の有効年数

適性審査を除く、書類審査、筆記試験の合格有効年数は、修了書発効日または合格通知書発効日から 3 年目の当該日までとする。

怪我、病気等特別な理由で有効年数内に受講または受験が受けられない場合は、それを証明する書類を提出し、審議に諮り判定する。目安は 1 年間の追加猶予とする。

●インストラクター資格認定および入会手続き

全科目に合格し、且つ前記の FA 講習の写しを提出した者へは資格認定書を発行する。資格認定書受給者でインストラクター業務を行う者は、本会の入会手続を行う。所定の入会金および年会費が納付された後、本会よりさらに資格証（本会正会員証）およびバッジを付与する。入会后、

フリークライミング・インストラクター (F.C.I) 部会に所属される。
すでに本会会員である場合には、年度中では資格間の会費 (入会金、年会費) 差額のみ徴収し、新資格の資格証を付与する。

●インストラクターの資格更新について

資格更新は3年毎に2日間以上の資格更新研修を受講し、更新申請する。

(更新の流れ) ①資格更新研修申請書+研修費納入⇒②更新研修⇒③更新研修修了書
怪我、病気等特別な理由で資格有効期限内に更新が受けられない場合は、それを証明する書類を提出し、審議に諮り判定する。目安は1年間の追加猶予とする。
なお、本会の資格重複者は資格ごとに資格更新研修が義務となる。

●適性審査は受験者4名以内に対して1名の検定員を配置する。

スポーツクライミング・インストラクター

●職能範囲

国内において人工壁を含む、一般のガイドブック等 (山と溪谷社、日本100岩場参照) でゲレンデと称され整備された岩場でのボルダリングからシングルピッチのスポーツルート (注) までをインストラクター、コーチ、講師としての指導行為を有償で行うことができる。

(注) ほぼすべてのプロテクションがボルトで構成されているが、1個のカムディバイスを安全管理のために補助的に使うルートに関してはスポーツルートとみなす。なお、トラッドルートはトップロープのみの指導に限る。

●受験資格

- ・満20歳以上で健康で体力があり、本会の定めるクライミング経験・技術水準を満たしクライミング経験年数3年以上の者。
- ・技術水準:
 - 人工壁で下記各5本以上
 - スポーツルートで5.11c以上のレッドポイントおよび5.11a以上のオンサイト経験。
 - 岩場で下記各5本以上
 - スポーツルートで5.11c以上のレッドポイントおよび5.11a以上のオンサイト経験。
 - トラッドルートで5.10a以上

●受験の流れ

書類審査 → 適性審査 (1日)
→ クライミング技術と安全管理 : 講習 (2日) + 検定試験 (1日)
→ レスキュー技術 (セルフレスキュー) : 講習 (2日) + 検定試験 (1日)
→ 筆記試験 (2科目、小論文) → 人工壁研修 (3日)

*書類審査、適性審査に合格し講習を終了した者は検定試験を受験できる。

*ファーストエイド (FA) 講習について

必須講習として資格認定時までに本会主催のファーストエイド 2 日間の受講済み (3 年以内に受講したもの) であること。認定時に、証明する書類のコピーを提出すること。

●免除規定

- ・本会のインドアクライミング・インストラクター資格取得 1 年以上で上記の受験資格を満たす者は「適性審査」「人工壁研修」が免除され受験できる。
- ・本会の山岳ガイドステージ I 以上、資格取得 1 年以上で上記の受験資格を満たす者は「レスキュー技術 (セルフレスキュー) : 講習・検定」、「筆記試験」が免除され受験できる。

●書類審査申請時提出書類

- ①書類審査申請書+顔写真 2 枚 (うち 1 枚は申請書に貼付のこと)
- ②住民票
- ③クライミング歴報告書 (インストラクター歴、コンペ歴がある場合にはその報告書)
- ④健康診断書 (受験申込前 6 ヶ月以内に受診したもの)
- ⑤検定試験受験誓約書

●書類審査、適性審査料

書類審査料 : 5,000 円、適性審査料 : 10,000 円 (1 日)

●適性審査 (人工壁 1 日)

5.11a 程度のオンサイトトライおよび 5.11c 程度のレッドポイントトライを行う。また指導者としての適性能力の審査を行う。

ボルダリング、トップロープクライミング、リードクライミング、ビレイ、ロープワーク等クライミングに対する理解度と安全管理に関する認識。用具の知識。ルールとマナー等について以上を A.B.C の 3 段階評価で行う。

●講習・検定試験時提出書類

- ①各実技の受験申込書
- ②山岳遭難保険加入証書の写し
- ③ファーストエイドの受講済みまたは更新を証明する写し (資格認定時まででもよい)
- ④最初の申請時提出書類から変更のあった内容についての再提出部分

●講習・検定試験および費用

講習・検定科目	講習場所	日数	費用	備考
クライミング技術と安全管理	日本国内	3 日	¥40,000	講習 2 日、検定 1 日
= 上記科目に合格した者が次へ進むことができる =				
レスキュー技術 (セルフレスキュー)	日本国内	3 日	¥40,000	講習 2 日、検定 1 日
延べ日数		6 日	¥80,000	

●講習・検定試験内容

講習・検定科目	講習・検定内容
事前説明	①諸注意（顧客の安全管理、天候等の自然環境、岩場までのアプローチ、岩場の状況） ②ルールとマナー
クライミング技術と安全管理および指導法	①クライミング技術 スポーツで 5.11a～5.11c 程度のレッドポイントトライ トラッド（ジャミング技術とカムのセット技術）で 5.10a 程度のトライ ②支点の構築技術（ビレイステーションとカム類等） ③確保技術（リードとトップロープ） ④懸垂下降と仮固定 ⑤用具の説明 ⑥指導法 ⑦安全管理（危機管理、顧客のケア）
レスキュー技術（セルフレスキュー）	①事故発生時の対応 ②基本技術 ③搬送技術 ④引き上げ技術（2：1、3：1） ⑤降ろし技術 ⑥自己出技術 ⑦確保技術（ローダウン、ショートロープ等）
机上講義： 本会の組織と資格制度について、職業倫理規範と安全管理責任、リスク・マネジメント、確保理論、過去の事故検証等（各項目約1時間、クライミング技術と安全管理およびレスキュー講習時に行う）	

●筆記試験科目（70%以上で筆記試験合格とする。）

試験科目	出題内容
業務関連	①インストラクター概論 ②リスク・マネジメント ③法律関係（自然保護法、旅行業法、道路運送法、土地利用に関する法律、その他法的責任について） ④フリークライミング概論と倫理 ⑤岩場に関する基礎知識
専門知識と安全管理	①クライミング技術について ②クライミングギアの知識（ロープ、カラビナ、ボルト、カム等） ③安全管理とマナー ④レスキュー技術と確保理論 ⑤ファーストエイドに関する知識 ⑥スポーツ科学（トレーニング理論、故障とケア、栄養学）に関する知識
小論文	インストラクターの役割や責務、およびインストラクターの資質について問う

・適性審査、講習・検定試験、筆記試験受験の参考図書：公益社団法人日本山岳ガイド協会刊

(1) フリークライミング・インストラクター指導教本+増補版

(2) 山のファーストエイド教本

(3) 山岳救助マニュアル・認定ガイド編

●人工壁研修の内容および費用

研修内容	研修場所	日数	費用	備考
ボルダリングの指導、課題設定、ビレイの指導方法、人工壁での安全管理など	日本国内	3日	30,000円	

●各科目の有効年数

適性審査を除く、書類審査、講習・検定試験、筆記試験の合格有効年数は、修了書発効日または合格通知書発効日から3年目の当該日までとする。

怪我、病気等特別な理由で有効年数内に受講または受験が受けられない場合は、それを証明する書類を提出し、審議に諮り判定する。目安は1年間の追加猶予とする。

●インストラクター資格認定および入会手続き

全科目に合格し、且つ前記のFA講習の写しを提出した者へは資格認定書を発行する。資格認定書受給者でインストラクター業務を行う者は、本会の入会手続きを行う。所定の入会金および年会費が納付された後、本会よりさらに資格証（本会正会員証）およびバッジを付与する。入会后、フリークライミング・インストラクター（F.C.I）部に所属される。

すでに本会会員である場合には、年度中では資格間の会費（入会金、年会費）差額のみ徴収し、新資格の資格証を付与する。

●インストラクターの資格更新について

資格更新は3年毎に2日間以上の資格更新研修を受講し、更新申請する。

（更新の流れ）①資格更新研修申請書+研修費納入⇒②更新研修⇒③更新研修修了書

怪我、病気等特別な理由で資格有効期限内に更新が受けられない場合は、それを証明する書類を提出し、審議に諮り判定する。目安は1年間の追加猶予とする。

なお、本会の資格重複者は資格ごとに資格更新研修が義務となる。

●適性審査は受験者4名以内に対して1名の検定員を配置する。講習・検定試験は3:1とする。

状況に応じてさらに検定員候補生を配置することができる。

フリークライミング・インストラクター

●職能範囲

国内において人工壁を含む、一般のガイドブック等（山と溪谷社、日本100岩場参照）でグレードと称され整備された岩場でのボルダリングからシングルピッチおよびマルチピッチ（注）までをインストラクター、コーチ、講師としての指導行為を有償で行うことができる。

（注）御坂・三ツ峠、奥多摩・越沢バットレス、伊豆・海金剛、姫路・雪彦山、大台ヶ原、小豆島・拇嶽、九州・屋久島などを除く。

●受験資格

・満20歳以上で健康で体力があり、本会の定めるクライミング経験・技術水準を満たしクライミング経験年数5年以上の者。

・技術水準：

人工壁で下記各5本以上

スポーツルートで5.12a以上のレッドポイントおよび5.11c以上のオンサイト経験。

岩場で下記5本以上

スポーツルートで5.12a以上のレッドポイントおよび5.11c以上のオンサイト経験。

岩場でトラッドルート5.10c以上を10本以上の経験。

岩場で下記各5本以上

3ピッチ以上のスポーツマルチルート、3ピッチ以上のトラッドマルチルートの経験。

●受験の流れ

書類審査 → 適性審査（1日）

→ クライミング技術と安全管理：講習（2日）＋検定（1日）

→ レスキュー技術（セルフレスキュー）：講習（2日）＋検定（1日）

→ マルチピッチとレスキュー技術（ワークレスキュー）：講習（2日）＋検定試験（1日）

→ 筆記試験（2科目、小論文）→ 人工壁研修（3日）

*書類審査、適性審査に合格し講習を終了した者は検定試験を受験できる。

*ファーストエイド（FA）講習について

必須講習として資格認定時までには本会主催のファーストエイド2日間の受講済み（3年以内に受講したもの）であること。認定時に、証明する書類のコピーを提出すること。

●免除規定

・本会のスポーツクライミング・インストラクター（シングルピッチ資格からスポーツクライミング・インストラクター資格へ移行した者）資格取得1年以上で上記の受験資格を満たす者は「マルチピッチとレスキュー技術（ワークレスキュー）（講習・検定）」のみの受験で構わない。

・本会のスポーツクライミング・インストラクター資格取得1年以上で上記の受験資格を満たす者は「レスキュー技術（講習・検定）」、「筆記試験・小論文」が免除され受験できる。

- ・本会の山岳ガイドステージ I 以上、資格取得 1 年以上で上記の受験資格を満たす者は「レスキュー技術（セルフレスキュー）（講習・検定）」、「マルチピッチとレスキュー技術（ワークレスキュー）（講習・検定）」「筆記試験・小論文」が免除され受験できる。

●書類審査申請時提出書類（スポーツクライミング・インストラクターと共通）

●書類審査、適性審査料（スポーツクライミング・インストラクターと共通）

●適性審査（人工壁 1 日）

5.11c 程度のオンサイトトライおよび 5.12a 程度のレッドポイントトライを行う。

他はスポーツクライミング・インストラクターと共通

●講習・検定試験時提出書類（スポーツクライミング・インストラクターと共通）

●講習・検定試験および費用

・クライミング技術と安全管理（スポーツクライミング・インストラクターと共通）

・レスキュー技術（スポーツクライミング・インストラクターと共通）

講習・検定科目	講習場所	日数	講習料	備考
マルチピッチとレスキュー技術	日本国内	3 日	¥40,000	講習 2 日、検定 1 日
延べ日数		9 日	¥120,000	

●講習・検定試験内容

講習・検定科目	講習・検定内容
事前説明	スポーツクライミング・インストラクターと共通
クライミング技術と安全管理	①クライミング技術 スポーツで 5.11c～5.12a 程度のレッドポイントトライ トラッドで 5.10a～5.10c 程度のトライ 他はスポーツクライミング・インストラクターと共通
レスキュー技術（セルフレスキュー）	スポーツクライミング・インストラクターと共通
マルチピッチとレスキュー技術（ワークレスキュー）	マルチピッチ ①支点の構築（流動分散と固定分散） ②セルフビレイ ③セカンドのビレイ ④ダブルロープ操作 ⑤確保器具の解放技術 ⑥懸垂下降と仮固定 レスキュー技術（マルチピッチでのレスキュー） ①事故発生時の対応 ②基本技術 ③搬送技術 ④引き上げ技術（2：1、3：1、9：1） ⑤降ろし技術 ⑥自己脱出技術 ⑦ロープ確保（ローワーダウン、ショートロープ等）
机上講義：スポーツクライミング・インストラクターと共通	

- 筆記試験（スポーツライミング・インストラクターと共通）
- 人工壁研修の内容および費用（スポーツライミング・インストラクターと共通）
- 各科目の有効年数（スポーツライミング・インストラクターと共通）
- インストラクター資格認定および入会手続き（スポーツライミング・インストラクターと共通）
- インストラクターの資格更新について（スポーツライミング・インストラクターと共通）
- 適性審査、講習・検定試験時の検定員の配置について（スポーツライミング・インストラクターと共通）

以上